



8時58分、五葉松平冬季登山口、荒木さん夫婦も

一月十四日(日)
安達太良山冬山パトロール
報告編集部



発行所
一本松市木ノ根坂
あだたら山の会
編集部

●編集部連絡先
一本松市郭内1-5-15
0243(22)4245
渡辺正

午前八時に奥岳スキー場集合、運行開始したりフトを二本乗り継いで九時五葉松平冬季登山口出発。急斜面を直登して、九時半五葉松平到着。パトロールの目的の一つは冬季道標(赤テープ)の設置。仙女平分岐迄は立木に「赤テープ」が付けられるが分岐から上は立木も雪に埋もれてしまうので、十一月二日の登山道整備の際に持上げておいた篠竹を立てて「赤テープ」を付けた。冬季道標とする。今回も山頂直下の峰の辻分岐迄の間に二十本ほど設置した。残った篠竹は峰の辻分岐の道標に縛り付けてあるので、使いたい人はご利用下さい。昼食休憩は強風を避けて仙女平分岐まで下がって摂った。下りはリフト使わず、夏道を歩いて下山した。今回のコースは奥岳から五葉松平経由山頂往復だった。当時は好天で青空がのぞいていたがただものすごい強風、そのためか登山者の数は少なく当会メンバーの他に薬師岳コースの登山者は七、八名だった。今回の冬山パトロールには会員外二名を含めて十名が参加した。

午前八時に奥岳スキー場集合、運行開始したりフトを二本乗り継いで九時五葉松平冬季登山口出発。急斜面を直登して、九時半五葉松平到着。パトロールの目的の一つは冬季道標(赤テープ)の設置。仙女平分岐迄は立木に「赤テープ」が付けられるが分岐から上は立木も雪に埋もれてしまうので、十一月二日の登山道整備の際に持上げておいた篠竹を立てて「赤テープ」を付けた。冬季道標とする。今回も山頂直下の峰の辻分岐迄の間に二十本ほど設置した。残った篠竹は峰の辻分岐の道標に縛り付けてあるので、使いたい人はご利用下さい。昼食休憩は強風を避けて仙女平分岐まで下がって摂った。下りはリフト使わず、夏道を歩いて下山した。今回のコースは奥岳から五葉松平経由山頂往復だった。当時は好天で青空がのぞいていたがただものすごい強風、そのためか登山者の数は少なく当会メンバーの他に薬師岳コースの登山者は七、八名だった。今回の冬山パトロールには会員外二名を含めて十名が参加した。



作業中 赤テープ付け

作業中、篠竹運び



作業中、大斜面



2018.01.14

パトロール中の隊員

午前七時半安達太良山岳登山口集合 開会式の後、救助隊二班を編成して午前八時出発。横三列になつて、ストレッチャーの引き下ろし道を造りながらも、勢至平方面へ登山。馬車道と近道の分歧点の三番目、近道湯桶十文字への分歧地点を訓練場所とした。

最初に消防署奉参のスケップドストレッチャードを開して要救助者を収容して搬送準備の訓練を実施。次は当会がブルーシー

RENDEZVOUS

一月二十四日(水)

救助訓練報告
編集部

昼食も訓練場所の雪上



当会からの参加者 11名



訓練現場到着

トを利用して 簡易のストレッチャーやを作り 要救助者を収容して搬送準備までの訓練を実施。次も当会が ツエルトザックを張つ

て要救助者の収容とビ
パークの準備・方法について訓練を実施。最後に緊急避難用の雪洞作り。数個のザックを雪上に置いて、ツェルトザックで覆い、雪を被せて固めザックを抜き取るという方法で空洞を作る、緊急時に利用できる雪洞の作り方だ。

所で撮るという現実に即した方法での実施となつた。

当日は時々日射しはあるものの、最近の雪降り続きで、登山道には訓練に十分な雪の量。昼食も訓練場

内で、消防署の元防災ヘリ隊員から、地上から防災へりに対する指示連絡の仕方について学んだ。

橋の手前で二班が要救助者を入れ替えて 奥岳まで搬送した。

訓練場所から奥岳までの搬送訓練。消防署のスケッドを利用して、一班が鳥川橋まで実施。

各自持參のハン・捌り飯。これも 捜索・救助活動の訓練の一つ。



10時42分、ブルーシートでストレッチャー作り



10時24分、スケッド・ストレッチャーの展開



12時18分、烏川橋上搬送訓練



11時、ツェルトザック張り作業中

